

第9回日独環境・エネルギーフォーラム

環境負荷の少ない輸送システムと 運輸部門における効率的な 再生可能エネルギー利用の可能性

2018年4月19日(木) - 20日(金)

連邦政府プレス・ビジターセンター、ドイツ/ベルリン



ご挨拶



モビリティは、私たちの社会の中で重要な位置づけとなっています。フレキシブルで信頼性が高く、個々の要素がさらに多様に連携する交通システムなど、十分に整備されたインフラストラクチャーは、経済活動にとって、また有益な共同生活のための重要な前提条件となっています。

現在、ドイツにおける運輸部門のエネルギー消費の95%は化石燃料に依存しています。それは、大気汚染や大量の温室効果ガスの排出を引き起こし、結果として、ドイツにおける二酸化炭素排出量の約20%が同部門によって占められています。我が国が掲げている気候目標を達成するためには、運輸部門での多大な努力が不可欠です。ドイツ連邦の気候保護計画2050では、2050年までに同部門でのクライメート・ニュートラルを目指しています。この転換はチャレンジであり、また運輸部門における最新化と競争性を高めることにもつながっていきます。

接続可能な未来のモビリティは、安全でクリーンで気候にもやさしく、効率的で騒音のない、そし

て適正価格の交通システムの確立によって実現されるものです。生活の質にかかわる持続可能なモビリティのためには、環境にやさしい交通手段への移行やデジタル化をはじめ、諸機能が近接した、多様でコンパクトな街づくりを目指した都市計画を実現するための、車両やエネルギー面での効率的で新たな技術が要となります。

この分野において、すでに日本やドイツでは多くの優れたモデルプロジェクトが実施されており、この度の第9回日独環境エネルギーフォーラムでもその中からいくつかの事例が紹介されます。当フォーラムは、今後のモビリティ転換に向けた課題について、産学官で議論をすると共に、将来の連携に繋げて行くための最適なプラットフォームとなっています。

リタ・シュワルトヴェリユアー-ズッター

ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全省 (BMU)
政務次官

主催

- ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全省 (BMU)
- ドイツ連邦経済・エネルギー省 (BMWi)
- 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

後援

- 経済産業省 (METI)
- ドイツ連邦環境財団 (DBU)

運営

- ECOS Consult
- adelphi



モビリティは、グローバル時代において私たちの社会生活や経済活動の根幹となっています。

社会や技術の大きな変革の影響を受け、モビリティ分野でも、都市化やデジタル化、シェアリング・エコノミーなどに強い傾向が見られます。このような背景から、同分野において、日本やドイツで様々な新製品やソリューションの他、活発なスタートアップ企業が注目されていることは当然のことと言えるでしょう。私たちのエネルギー消費の大きな割合は運輸部門によって占められ、それによって温室効果ガスやその他のエミッションの原因となっており、その対策には同分野での大きな技術革新が必要とされています。

私たちは、同分野における社会や経済からの要請を軽視することなく、大幅なエミッション削減と長期的視点に立った温室効果ガスニュートラルを達成すること、すなわち「運輸分野でのエネルギー転換」に向けた大きな課題に直面しています。それには、自動車産業をはじめ航空産業などの関連分野が、社会経済に重要な位置づけとなっていることも考慮していかなければなりません。

私は、第9回日独環境エネルギーフォーラムで同テーマにおいて、過去のフォーラムと同様に産官学のエキスパートの間で密度の濃い交流ができることを喜ばしく思っております。そしてそれが、未来に続くスマートソリューションや気候にやさしいエネルギーシステムでの日独連携につながってゆければと願っております。当フォーラムが、興味深い対話やアイデアの創出の場となることを祈念するとともに、皆様のご尽力に感謝いたします。

ライナー・バーケ

ドイツ連邦経済・エネルギー省 (BMWi)
事務次官

言語 日独同時通訳

参加お申込み 参加費無料
下記のサイトからお申込みください。
www.ecos.eu/eedf2018

プログラム

2018年4月19日 (木)

09:00 **参加者受付開始**

09:30 **ご挨拶および導入講演**

モデレーター：ジャーナリスト

ダグマ・デーマー

「モビリティ分野での気候保護の推進 — ドイツの気候保護政策における交通部門の位置づけ」

ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全省 (BMU) 政務次官

リタ・シュワルツェリユアー - ズッター

「再生可能エネルギー利用最大化への NEDO の挑戦」

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 理事

表 尚志

10:10 **セッション 1A: 日独のエネルギー政策と持続可能な運輸・交通に向けた体系的な枠組み条件**

「総体的エネルギーシステムの展望および電力と交通のセクターカップリング」

ドイツ連邦経済・エネルギー省 (BMWi)

エネルギー政策・熱・効率局 局長

トルステン・ヘルダン

「エネルギー転換に向けたグローバルな政策の挑戦」

経済産業省

資源エネルギー庁 長官官房 国際課 課長

田中 一成



Dagmar Dehmer



Rita Schwarzelühr-Sutter



Takashi Omote



Thorsten Herdan

プログラム
2018年4月19日 (木)

「気候変動政策における交通セクターの役割」

在ドイツ日本国大使館 参事官
川又 孝太郎

11:00 休憩

11:30 セッション 1B: 運輸部門における脱炭素化 — 挑戦と可能性

「次世代／ゼロエミッション自動車のグローバルトレンドと政策的含意」

経済産業省
製造産業局 自動車課 電池・次世代技術室 室長
石川 浩

「運輸部門における脱炭素化 — モーダルシフトおよびインフラ、
革新的な車両に向けた挑戦」

アゴラ・フェアケアスヴェンデ (アゴラ交通シフト) 代表取締役
クリスチャン・ホッフフェルド
エムファイブ社 研究部門リーダー
ヴォルフガング・シャーデ



Kazushige Tanaka



Kotaro Kawamata



Hiroshi Ishikawa



Christian Hochfeld



Wolfgang Schade

プログラム

2018年4月19日 (木)

12:10

ディスカッション

運輸部門における脱炭素化 — モーダルシフトおよびインフラ整備に向けた挑戦

- 東京大学 公共政策大学院 教授 有馬 純
- 経済産業省 石川 浩
- 野村総合研究所 グローバル製造業コンサルティング部門
自動車産業グループ グループマネージャー 風間 智英
- エムファイブ社 ヴォルフガング・シャーデ
- ドイツエネルギー機構 (dena) 代表取締役 クリスチーナ・ハーファカンフ
- アゴラ・フェアケアスヴェンデ クリスチャン・ホッフフェルド

13:00

昼食休憩

14:00

セッション 2A: アーバン・モビリティ —

人口過密都市における低エミッション交通コンセプト

モデレーター / 導入 :

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

スマートコミュニティ部 統括研究員

諸住 哲

「ベルリンの交通コンセプト — 都市部における持続可能な交通の事例」

ベルリン交通運営会社 (BVG)

事業開発部 部長

ルッペルト・シュトゥーヴェ



Kristina Haverkamp



Jun Arima



Tomohide Kazama



Satoshi Morozumi



Ruppert Stüwe

プログラム
2018年4月19日 (木)

「横浜市におけるスマートシティの推進 — 低炭素交通の取組を中心に」

横浜市 温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課 担当係長
川原 宏美、村越 大晃

「エスリンゲン市におけるゼロエミッション行動ークライメート・ニュートラル街区
コンセプトの構成要素としてのモビリティ」

シュタインバイス・イノベーションセンター エネルギー・建築物・ソーラー技術 (EGS)
プロジェクトリーダー兼エネルギーコンセプト部 副部長
トビアス・ヌッサー

「ZeEUS — ゼロエミッションの都市バスシステム」

フラウンホーファー交通・インフラシステム研究所 (IVI)
車両・交通システム技術部 部長
トラルフ・クノーテ

15:15 質疑応答

15:45 休憩



Hiromi Kawahara



Hiroaki Murakoshi



Tobias Nusser



Thoralf Knotte

プログラム

2018年4月19日 (木)

16:15 **セッション 2B: アーバン・モビリティ — eモビリティにおける系統インフラの課題**

「スマートグリッドにおける e モビリティ」

ベルリン工科大学

エネルギー供給ネットワーク・再生可能エネルギー統合研究室 室長

カイ・シュトルンツ

「協力と競争、電気自動車と環境のために必要なものは？」

東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所長

(CHAdEMO 協議会 代表理事)

姉川 尚史

「普及に際しての充電インフラへの要望」

日産自動車株式会社 渉外部 担当部長

兼 環境・安全技術渉外部 主管

吉田 誠

17:05 **ディスカッション**

- ベルリン工科大学 カイ・シュトルンツ
- 東京電力ホールディングス 姉川 尚史
- 日産自動車 吉田 誠

17:50 **終了**

18:30 **レセプション**

会場：連邦環境省アトリウム



Kai Strunz



Takafumi Anegawa



Makoto Yoshida

プログラム

2018年4月20日（金）

09:30

セッション3: 運輸技術の代替え — 水素と蓄電池に焦点をあてた車両

モデレーター / 導入: ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全省 (BMU)

環境・交通・エレクトロモビリティ課 課長

ウヴェ・ブレンドレ

「ドイツにおける駆動システムと駆動技術の代替えについての概要」

国立水素・燃料電池技術機構 (NOW) 理事長

クラウス・ボンホフ

「水素社会の実現に向けて」

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

新エネルギー部 主任研究員

大平 英二

10:15

技術プレゼンテーション

「e ハイウェイ — 電化道路貨物輸送のためのソリューション」

シーメンス株式会社 e ハイウェイ部 プロジェクトリーダー

ハツ グェオルグ・グリュンイエス

「来たるべきグリーン社会における“Power-to-Gas”の役割と欧州における旭化成の取組み」

旭化成ヨーロッパ クリーンエネルギープロジェクト 部長

丸山 睦弘



Uwe Brendle



Klaus Bonhoff



Eiji Ohira



Hasso Georg Grünjes



Mitsuhiro Maruyama

プログラム

2018年4月20日 (金)

「トヨタのモビリティ戦略としての水素」

トヨタ・モーター・ヨーロッパ ベルリン事務所 ディレクター
フェリー・フランツ

「鉄道のゼロエミッション駆動のソリューションとなる水素」

アルストム社 事業開発部 部長
ミヒアエル・リッター

11:15 **休憩**

11:45 **ディスカッション: 代替輸送技術**

導入講演: 「気象保護に貢献する代替輸送技術」

フラウンホーファーエネルギー経済・エネルギーシステム技術研究所 (IEE)

エネルギー経済・システム分析部門

ミヒアエル・フォン ボニン

- NOW クラウス・ボンホフ
- NEDO 大平 英二
- トヨタ・モーター・ヨーロッパ ベルリン事務所 フェリー・フランツ
- フラウンホーファー研究所 IEE ミヒアエル・フォン ボニン

13:00 **閉会の辞**



Ferry M. M. Franz



Michael Ritter



Michael von Bonin

お問合せ

ECOS Consult

Johanna Schilling (Ms) T: +49 (541) 911-909 90

Westerbreite 7 F: +49 (541) 911-909 99

49084 Osnabrück E: eedf2018@ecos.eu

adelphi

Jana Narita (Ms) T: +49 (30) 89 000 68-361

Alt-Moabit 91 F: +49 (30) 89 000 68-10

10559 Berlin E: narita@adelphi.de

お申込み

www.ecos.eu/eedf2018